



街頭宣伝活動で真空パック米を手渡す黒崎部長



街頭宣伝活動で宇都宮産米をPRする横松組合長

## 宇都宮産米の消費拡大をPR ～みんなのよい食プロジェクト2021～



街頭宣伝に参加した横松組合長は「組合員が丹精して作ったお米。ぜひ地元消費者においしく食べていただき、消費拡大につながればうれしい」と語りました。黒崎部長は「自分は水稻生産者なので、消費者と直接触れ合う機会がない。新米を配る機会があつてありがたい」と語りました。宇都宮産米の消費拡大に期待を

同プロジェクトは県産農畜産物の安全・安心をPRし、消費拡大を推進することを目的にしています。宣伝活動は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施。真空パックされたJAうつのみや産「みやおとめ」の新米300個を歩行者に配り、米の消費拡大を呼び掛けました。

JAは10月29日、宇都宮市川向町のJR宇都宮駅西口ペデストリアンデッキで「やっぱり国産農畜産物推進運動」みんなのよい食プロジェクト2021』街頭宣伝活動を実施。JAの横松久夫組合長やJA青壮年部の黒崎浩史部長など8人が参加しました。

梨専門部は、天候不順によって2年続けて大きく落ち込んだ生産量を回復するために、人工授粉ハンドブックを作成。マニュアル化することにより、今年の幸水の生産額が初めて5億円を突破することができました。また食品安全、環境保全、労働安全等を持続的に確保するための生産工程管理の一つにあたるGAP取得にも積極的に取り組んでいます。相場照久部長に梨専門部の飛躍につながった活動内容などを聞きました。世界基準の「グローバルGAP」を取得した宇都宮市上籠谷町の山口果樹園も紹介します。



## 梨専門部の相場照久専門部長に成功の秘訣を聞きました

Q 2021年産の早生品種「幸水」の販売額が初めて5億円を突破しました。

A 天候不順に伴う全国的な収量不足が単価を押し上げた中、人工授粉作業のマニュアル化を図り、安定した着果数を確保することができました。JAの販売担当者が市場担当者らとの情報交換を緻密にしながら、出荷状況を把握し続けたことで、過去最高の販売額につながりました。

Q マニュアル化はどのようにして出来上りましたか。

A 全部員の授粉作業のアンケートを基に作りました。省力的で効果的な授粉方法を体系化することにより、これまで各農家の経験や勘に頼ってきた授粉作業を抜本的に改善することができました。

Q 昨年は梨専門部員の有志23人が農業生産工程管理(GAP)認証県制度版「とちぎGAPの第三者確認」、宇都宮市針ヶ谷町の布瀬谷英紀さん、真琴さん夫妻が運営する英真株式会社が日本基準の「JGAP」、今年8月には山口果樹園(山口幸夫代表)が世界基準の「グローバルGAP」を取得しました。

A よりよい農業生産工程管理を具体化することは非常に素晴らしいことだと思います。消費者からの安心・安全の信頼度を高めることになります。

Q これからの課題はありますか。

A 来年が勝負の年になります。今年は人工授粉元年として位置付けし、スタートダッシュに成功しました。よい年が1年間で終わりになっては意味がありません。2年、3年としっかりと実績を残すことにより、生産技術を身に付けることになります。こうして初めて、個人の飛躍と組織の発展につながっていきます。

# 飛躍する梨専門部を紹介

人工授粉マニュアル化で生産量回復

幸水が5億円を初突破

宇都宮市の山口果樹園が世界基準の  
「グローバルGAP」取得



グローバルGAPを取得した  
山口果樹園の山口幸夫代表と  
山口慧さんにお話を聞きました



グローバル GAP を取得した山口果樹園の山口代表(右)と山口慧さん

株式会社山口果樹園は9月、GAPの中で審査項目が最も多く信頼度の高い、世界基準の農業認証「グローバルGAP」を取得しました。同果樹園の山口幸夫代表は、県GAPを取得したことや、欧州への輸出を視野に入れたことがきっかけだと話します。

グローバルGAPの最も大きな強みとして、山口代表は「環境の整備によって生産効率が上がったこと」を挙げました。機材が置いてある場所の周知やルール作り、それまで経験や勘に頼っていた部分のマニュアル化などの「見える化」を行い、無駄な時間を削減することができました。また販路拡大を視野に入れ、元々にっこりの輸出を行っているスイス、ベトナムに加えてタイへの輸出を予定しており、今後新たにドイツなどEU圏への輸出も計画しています。

山口代表は「個人でもグローバルGAPが取れるんだと、多くの生産者の意識改革につながれば。いろいろな意味で夢を持ってもらえるようになってほしい。可能性を広げていくためには、こうしたチャレンジをしていかなければならないと考えている」と語り、今後に期待を込めました。

## タマネギ畠の防除を 上三川で実演会

上三川町内の圃場で行われた防除散布実演会



**玉** 葱専門部は10月15日、タマネギの黒腐菌核病<sup>ほじょう</sup>を防除する実演会を上三川町内の圃場で実施しました。部員はじめ、県・JA・メーカーの担当者、20人が参加し、トラクター前部に取り付けた機械から薬剤の散布を実演しました。

小口義徳専門部長は「黒腐菌核病は当産地でも長期連作により、被害が増加している病気。病勢が進むと、タマネギ全体が枯死してしまう深刻な病気なので、産地として効果的な防除対策を検討していきたい」とあいさつしました。

トラクターを使った実演では、薬剤を散布しながら耕耘する効率的な作業を実演しました。



## トマト販売強化に向けて トマト専門部がリモートで市場ヒアリング

**JA** トマト専門部は10月15日、宇都宮市上籠谷町の東部選果場で市場ヒアリングを行いました。新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、京浜地区の市場担当者とはリモート会議を実施。同選果場では全農とちぎやJA担当者ら6人が参加し、2022年産トマトの販売強化について市場担当者ごとに協議を行いました。

同JA総合販売課の担当者が本年の販売実績報告と次年産に向けての販売計画を報告し、市場担当者から本年の反省と次年産に向けての販売計画が報告されました。

2022年産の生産計画は、栽培面積35ha、生産者数159人、出荷数量4,101tで販売金額11億8800万円を目指します。



東部選果場でリモートヒアリングを行うJA担当者ら



## アスパラの栽培管理学ぶ 研究グループが講習会

グ南  
リーンアスパラガス専門部研究グループで行われた  
アスパラガスの秋季栽培講習会



**グ** リーンアスパラガス専門部研究グループは10月18日、秋季栽培講習会を宇都宮市砂田町の南部宮農経済センターで開催。部員やJAの担当者ら25人が出席し、栽培管理や病害虫対策について学びました。

栃木生科研の椎名亮引代表が「アスパラガスの栽培管理及び病害虫対策について」をテーマに講演しました。アスパラガスの立茎本数や間隔、立茎の太さや高さについての各農業試験場の研究成果を報告。肥料の3要素である窒素、リン酸、カリの植物体における役割や植物体中の肥料の流れ、アスパラガスの生育時期に応じた肥料の施用についても説明しました。

## 出荷に向け販売対策会議・出荷目ぞろえ会を実施

トマト専門部越冬トマトグループ



目ぞろえをする部員ら



**JA** トマト専門部越冬トマトグループは10月18日、宇都宮市上籠谷町の東部選果場で販売対策会議・出荷目ぞろえ会を開きました。同部員やJA職員、関係機関の担当者ら18人が参加。

販売対策会議では、全農とちぎの担当者が2021年産トマトの販売状況や今後の見通しを報告。またJAの担当者が販売計画を説明し「関係機関と連携し契約販売を拡大し平均単価の底上げを図りたい」と基本方針を示しました。

出荷目ぞろえ会では同部員が現物を見ながらトマトの形状や着色の度合いを確認し、出荷規格の統一を図りました。

本年産越冬トマトは10月上旬から来年6月まで出荷を行う予定です。

## 高品質の出荷を

南河内支部がホウレンソウ目ぞろえ会



**ほ** うれん草専門部南河内支部は10月19日、ホウレンソウの目ぞろえ会を下野市田中の南河内野菜集荷所で開催。部員やJA・県・全農とちぎ・市場の担当者ら約60人が参加し、出荷規格などを統一し、高品質のホウレンソウを出荷することを確認しました。

同専門部長で南河内支部の本橋寛隆支部長は「今日の目ぞろえ会で出荷規格をみんなでしっかりと確認して、品質良好なホウレンソウを出していこう」とあいさつしました。

全農とちぎの担当者が2021年産の販売情勢を報告しました。出荷規格では、L・M・Sの葉茎長基準を示し、すぐりを良くして根を切り、土はよく落とすことを求めました。現物目ぞろえでは、品質・選別・調整が良く品質がそろっているかを確認しました。



南河内野菜集荷所で行われたホウレンソウの目ぞろえ会

## 大きなにっこり、親子でにっこり

アグリスクールでナシ収穫体験



山口果樹園で行われたJAうつのみやのアグリスクール  
収穫体験



**JA** は10月23日、アグリスクール「梨収穫体験」を宇都宮市上籠谷町、「山口果樹園」で開催しました。5家族20人が参加し、大きく実ったにっこりの収穫作業を体験しました。

1年間のナシ農家の仕事の流れを説明した同園の山口幸夫代表は「これから収穫するにっこりは、栃木県で生まれたナシで、とても大きくなります。病気にも強く、日持ちもする品種です。皮が赤くなっているものを選んでください」と話しました。家族で参加した宇都宮市石井小6年、原口七海さん(11)は「とても大きく重かった。おいしそうなものを選んで収穫しました」と笑顔を見せっていました。



稻刈り体験をする岡本西小の児童



児童が昔ながらの手作業で稲刈り（9月24日）

宇都宮市立岡本西小が  
稲刈りの体験学習を行いました。児童約95人が参加し、  
青壮年部河内支部のメンバーが指導しました。「みんなのよい食プロジェクト  
2021」PR（10月17日）

JAグリーンインターパークとJAグリーンかみかわちで、  
「3食ごはんの日」を推奨するため、  
1,000円以上お買い上げの  
お客様にみやおとめ真空パック米(300g)と  
チラシを配布しました。



みやおとめ真空パック米を受け取る購買客

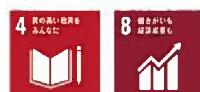


調理するみどり会上河内支部のメンバー



あたたかい家庭メニューを子どもたちへ（10月25日）

みどり会上河内支部は、宇都宮市戸祭4丁目の  
昭和こども食堂で調理ボランティアを行いました。  
炊き込みご飯、煮込みハンバーグ、ポテトサラダ、  
けんちん汁の4品を調理をした江連恵子支部長は  
「子ども達に喜んでもらえるといいな」と話しました。



理事を対象にした資産形成運用セミナー（10月26日）

JAの理事が資産形成・資産運用の  
重要性を学びました。  
資産運用・投資・金融・経済教育に  
力を入れている洞口勝人さんが講演しました。



真剣な表情で講演を聞く参加者



SDGsについて学ぶ受講生

SDGsの取り組み拡大に向けて  
(10月28日、29日)

女性大学第2回講座SDGs教室  
「食と農について学ぼう」を開催。  
家の光専門講師の佐久間幸子さんが講師を務め、  
今直面している問題や個人でできる取り組みについて  
講義しました。

組合員の皆さまからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。  
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

# 管内インフォメーション

## 活躍を期待される人材に 融資業務トレーニー中間活動報告会



発表後に意見を交換する参加者



堂々と発表する川上トレーナー



融資業務トレーニー中間活動報告会が9月29日、宇都宮市平出工業団地の農林中央金庫宇都宮支店会議室で行われ、JA役員など15人が参加しました。同JAは令和元年から融資の専担者を育成するため、職員1人を農林中央金庫に派遣しています。今年度は金融部の川上大貴さんが1年間の研修を受けています。

中間活動報告で川上さんは、自分に不足している点を分析して見据えるべき目標を明確化したこと、努力を続けたことで実績につながり自信を得たことなど、具体的な事例を挙げて発表しました。最後に「営農面でも融資面でも、JA一丸となって農家を支えていきたい」と将来の抱負を述べました。

J Aの横松久夫組合長は「今後さまざまな事業の拡充拡大が必要な中で融資はその最たるもの。意識の高さと成長に感銘を受けた。JAに戻ってきたら活躍してくれるよう期待している」と感想を述べました。



## 労務管理の重要性を確認 JAが研修会

JAは10月5日に宇都宮市白沢町のJA河内営農経済センター、12日に宇都宮市砂田町の南部営農経済センターで労務管理研修会を実施しました。

研修会は農業を経営する中で雇用を行う場合の注意点や労務関係の制度について改めて周知する場を作り、雇用トラブルなどの未然防止や疑問を解消することを目的にJAが開催しました。

研修会では、社会保険労務士法人FOLLOM代表の池田功さんが講師を務め「農業における労務管理の重要性」を題材に、労務関係の制度や法令、従業員を雇い入れた場合の労働保険など基本的な労務管理について講演。労務管理のポイントについて実際のトラブルを例に挙げながら解説しました。研修会後には参加者の相談に応じました。

池田さんは「農業の労務管理は非常に複雑。労務関係の法律を知ってほしい」と労務管理の重要性を語りました。



研修を受ける参加者

## みどり会城山支部活動について ダイコン、白菜の種植えを行いました！

**み**どり会城山支部（丸山明子支部長）は9月10日、会員の圃場で種植えを行いました。3密を避けて作業を行い11月末に収穫予定のダイコン、白菜の栽培管理を体験しました。



黙々と作業しています！

### 丸山明子支部長のコメント

2021年も“コロナ”によって日常生活が制限された1年でした。何の活動もできないもどかしさの中、緊急事態宣言が解除され、昨年同様の野菜作り体験を実施しました。2年目という事もあり、慣れた手つきで収穫の喜びを想像しながら作業に汗を流しました。コロナも少し落ち着いてきた今、ちょっとずつでも活動を再開していくなら…と思います。



すくすく成長しました！



収穫が楽しみです



手ぬぐいで帽子を作るみどり会横川支部の皆さん



南部支所に展示した帽子



みどり会横川支部の皆さん

## みどり会横川支部活動について

**み**どり会横川支部では、毎年、料理教室や小物づくりなどの活動を実施してきました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大による自粛の中、どのような活動ができるかを考え、7月に手ぬぐいで帽子づくりを行いました。完成後には帽子を南部支所に展示させてもらいました。1日も早くコロナが終息し、元の生活に戻れるよう願っています。

# ワンプレートレシピ One plate recipe

## 「タラのポン唐」



### 材料(3人分)

生タラ(薄塩を振って1時間ほど置いておく)	.....	3切れ
マイタケ	.....	1/2パック
片栗粉	.....	適宜
サラダ油	.....	適宜
塩	.....	適宜
A (ポン酢たれ)	ポン酢	大さじ4
	大根おろし	大さじ3
	ゆずこしょう	小さじ1
	ミツバ(1cmほどのみじん切り)	1/2把
	トマト(さいの目切り)	1個

### 作り方

- ① 生タラの水気をしっかりと拭き取り、大きめにほぐしたマイタケと一緒に片栗粉をまぶす。
- ② サラダ油を180度に熱し、①の生タラを表面がカリッとなるぐらい(5~6分目安)しっかりと揚げる。続いてマイタケも揚げ、揚げ上がったら両方に薄く塩を振る。
- ③ 皿にタラとマイタケを盛り付け、混ぜ合わせたAを上から掛けて出来上がり。

茨城県笠間市にある  
天晴(旧キッチン晴人)  
オーナーシェフ  
ながいともかず  
**永井 智一**



## 今月の直売所情報

年末年始用のお買い物は、JA直売所で!  
直売所は終セール12月30日まで実施します!!

対象店舗: JAグリーンインターパーク・JAグリーンかみかわち・南河内グリーンセンター

特売 南河内  
グリーンセンター  
第3木金曜は  
特売デー

**お米の特売日** JAうつのみや お薦めのみやおとめ(コシヒカリ)  
をお買い得価格にて販売します!!

JAグリーンインターパーク  
直売所 毎月第3日曜日(12/19)

& JAグリーンかみかわち  
直売所 每月8の付日(12/8, 18, 28)

南河内グリーンセンター  
生産者さん募集!!

詳しくは南河内営農経済センター  
TEL: 0285-48-2215  
営農課 森田・上野まで

# 豊郷支所

だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



豊郷地区を散策してみるのはいかがですか？



キバナコスモス



文化の森（撮影当日には某支所のみどり会のみなさまがまたま体操教室を行っていました。ホントびっくり）

豊郷地区には「豊郷まほろばの道」というものがあります。これは豊郷地区の西部丘陵及び田川周辺の多数の古墳・文化遺跡などの文化遺産を結んだ散策路です。魅力あるものばかりですが、なかでも宇都宮美術館周辺の公園施設（うつのみや文化の森）は、約26ヘクタールの緑豊かな丘陵地にあり、四季折々に移り変わる自然を楽しみ鳥たちの姿を観察することも出来ます。草の広場や花の路、森の中の散策路が整備されているので、家族連れや友達同士でお弁当などを持ち込んでの散策やピクニックに最適です。

さらにそこからまほろばの道を南に歩いて森を抜けると、8月中旬から9月中旬くらいまでキバナコスモスの黄色のじゅうたんが広がります。このキバナコスモスは豊郷支所の組合員鈴木康夫さんが丹精を込めて育てたもので、コスモスと里山の風景を楽しんでほしいと24年前から作り始めたそうです。毎年最盛期には多くの見物客や写真家が訪れています。来年ぜひともご覧ください。

コロナ禍の巣ごもり生活の運動不足を古墳や遺跡、豊郷地区の風景をみながら解消してみてください。



豊郷まほろばの道  
平成16年作成



## 支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	南河内支所	0285-48-2211
宝木出張所	028-622-6111	上三川支所	0285-55-1510
平石支所	028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
南部支所	028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター	028-658-6565
城山支所	028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
北部支所	028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター	028-660-3535
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	河内営農経済センター	028-673-6911
姿川支所	028-658-6881	南河内営農経済センター	0285-48-2215
上河内支所	028-674-3333	上三川営農経済センター	0285-55-1511
河内支所	028-673-3135	住宅ローンセンター	028-622-7100

各種お問い合わせはこちらへ

■ キャッシュカードの紛失・盗難  
フリーダイヤル0120-082065

■ 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)  
事故受付センター フリーダイヤル0120-258931

■ JA葬祭(24時間受付)

アトラス宇都宮ホール 028-660-5555  
アトラスファミリーホール鶴田 028-633-9200  
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

■ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達  
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)  
※緊急連絡先028-633-0085